コミュニティスクエアに、期待するもの。

創刊記念対談　前編

（株）帆風　代表取締役
犬養俊輔 Inukai Shunsuke
×
（株）E&E　代表取締役
高辻慎博 Takatsuji Nobuhiro

7月19日（株）帆風社長室にて

積極性ある、良識ある企業が…。（犬養）
どう発展するか、一員になり得るか。（高辻）

犬養　第一回交流会には予想以上の多数の方々に出席していただいて、それも、ついでに参加したというのではなく、これから僕らが考えているあり方に一緒にがんばろうじゃないか、と。

高辻　ええ、確かに。みんな一生懸命だなというのを体感しましたね。

犬養　それに、凄く乗りの良い感じなので、いい形になる可能性がもの凄くある。

高辻　ただ、何をするのかというのを皆さんまだ具体的に持っていないので、これは焦っちゃいけないなと。現実に、早く道しるべとかのろしとかを上げていかないと…。どれ位やる気や気持ちが持続できるかですね。

犬養　委員のことだけど、予想外に5人の方が手をあげてもらえたのは素晴らしいことだった。裏話的なことをいうと事前にお願いした人もいる。普通、会の委員って積極的にやってもらえるものではないんでね。そのため、1年目は委員になる人が10名以上と多いんだけど、やる気のある人たちでどういう風に運営していくか。

高辻　そう、私も予想外でしたが、どのように変えていくかが大事だと思っています。

犬養　僕は、交流会で56名の人達と名刺を交換した。会社の代表者はだいぶ知ってはいたが、今回は、担当者であったり参謀の人達であったり…。多くの人と親しくなった時間がなかったので、具体的に会の運営をどうしたいのかという話はできなかったけど、皆さん前向きで好意的で、いい形に持っていかなければいけないなという責任を感じた。

高辻　私も名刺を14、15名ほど交換しました。確かに一生懸命で、だが、実際何をしようかという具体案までは…、素性を探り合っているって感じかな。レンタルブースの発想については、犬養さんから構想を聞いた時、これは私たちの暗黙の目標、志だと思いましたよ。東京の中心で文化を発進することは、前々からの経緯で考えてもずっと語っていたことなので、その流れの中ででき上がったもので、大いに賛成だった。だから、突然の事でもなんでもなくて、何年も前から理想としていたことだったから。

犬養　最初、2100坪は結構余ると思っていたんだよ。で、何社かに来てもらって一緒にやるのがいいだろうってでき上がった。それが発展していくうちにね…。ブースも、オープンまでに30、40はと思っていたんだ。それを上回る数が入って出足としては素晴らしい。

高辻　私もビックリした。こんなに早く埋まるとはね。この業界、「何かしなきゃこのままじゃいけない」と思っている人がいて、そういう人達がもっといると…。

犬養　参加企業のリストを見ると頑張ってる会社が多いんでね、これをまとめるっていうより、うちが触媒みたいなものになって…。

高辻　うちは、ポストファクトとして人よりも先にしっかりしたものもやらなければいけないんで…。うちの会社はまだハードルが高いし、社員の意識もつけなければ。

犬養　これしたいあれしたいを、上手くコーディネートして形にしていけばいいんだよ。

高辻　でも、現実的にはうちが頼り切れる会社になるまで、ここは犬養さんにまとめてもらうしかない（笑）。

犬養　良識のある積極性のある会社が来てくれたと思っているんでね。消極的だったら僕がリーダーシップをと思っていたけど、やる気のある会社がほとんどだから一緒につくっていく形で十分だと思っている。

高辻　あと、竹プリとブースとをどう絡めるかですね。一部はやっているようですが、風が違うような…。ブースの中で固まってもいいが、固まり方が問題かなと。

犬養　それは、これからの運営でしょう。始まってまだ3ヶ月、実際みんなもどうしていいか分からない。毎月の会合とか、いろんな間を設けてみんなで行ったり戻ったりするかもしれないんだよ。この会社はこういうことをしている、仲良くすればこの部分は楽になるとか。そんな事があってもいい。だから、帆風よりE&Eが目立ってもいいわけだし…。

高辻　うちは目立てるような会社じゃないですよ（笑）。あと、業界のライバルが集まったと言う人がいるけど…。

犬養　僕は印刷業界36年目だけど、基本的にはどこがライバルという考え方は少ないな。一社で全てはやれないって時代が来たというのはみんな分かっていることだから、助け合いや共存の仕方をいかに早くつくるかだね。みんなで、同じモチベーションをつくることが大事なんだよ。

高辻　ええ、うちもどこかの客でぶつかることもあるけど、お互いにライバルであればあるほど、ひとつのコミュニティの中でいい仕事をすればいい、ライバルというと叩き合いなんでね。そこを改善できるなら共存していった方が…。話は変わるけど、小ロットで24時間自体に関心のある会社は？

犬養　そんなにはいないと思うね、その仕組みに興味ある会社はあると思うけど…。ただ、自分たちには自分たちのお客さん、仕事の取り方があるのだから…。小ロットで24時間は帆風で商売になっているんで、そのまま当てはめても、他の会社で商売になるわけではない。ただ、全体の仕組みや仕事のやり方に興味を持っていただいているところはあると思うんだよ。

高辻　うちは、小ロット・24時間は最近になって意識したところで、印刷機を導入してからが短いわけだし、製版から印刷までトータルで仕事を取っていこうと移行している時期で今は小ロットだけ翌日納品だとかはこれから学ぶことで…。今回、竹橋に来た理由は帆風の仕組みをおおいに勉強したい、一緒になってやりたいと思ったから。他の人たちもそういう気持ちが強いんじゃないかな。どんないい仕事をしていくのか、どんな仕事を広げていくのかに皆さん興味があると思います。

犬養　それから、最初はみんなが1つの同じ目的でなくてもいい。ただ、自分たちで幾つか共通するものをってね…。帆風自身も、外に出ている仕事はコミュニティ内でまかなえるのはそうしたいし…。逆に他の会社も、自分のところでやる仕事と仲間でやる仕事を考えてくると思う。そういう考え方の"和"が、また違った発想を生み出すことも考えられるので、当初の目的はたくさんあってもいいし、色々な思惑があっていいと思っているんだよ。

高辻　うん、思惑はそれぞれあると思う。もちろん、うちもそうなんですけど、そこからどう発展するかが大切で、一員になり得るかが先だと思う。おそらく、ブースの人達もどうやるかを必死に考えている。それが思惑かもしれないけど、やっていくうちにそれが橋になっていくんじゃないかと思いますね。それが固まっていけば、あるところから仕事が流れるのは当たり前だし…。全体としての思惑として、竹橋の仕事が少しでも上がっていくといいし、そうなるべきだと思いますよ。

犬養　そうやって、70社色々な形でお互いが尊重し合い、特徴を発揮していければ、合わさると2000億円近くの会社と同じことになるんで、それも素晴らしい。印刷業界全体で、ここに相談すればほとんどのことが解決できるみたいなね。そこまでもっていけたらいいなというより、もっていきたいなと思う。

高辻　それが一番ですよね。我々の業界は多様化してるじゃないですか。多様化の中にビジネスチャンスがあるんです。それを、今回少し話しただけでも、こんなこともあるのかっていうのがいっぱい見つかる。それが、後に取り入れられるのか、それとも、相談事はそこに行けばいいのかってね。そこから、新しいビジネスチャンスが生まれてくる。

犬養　それに、この業界は元々地域格差はあるんだけど、このコミュニティの会社には比較的少ないんで…。考え方、規模、仕事の特徴は別として、より前向きにやろうとしてらっしゃる人たちが多いからね。

高辻　ええ、地域格差はそれほど考える事でもない。全国発送とかがあればどこでもいいし、仕入れが安くて高く売れればいいわけですから…。協力してやっていけばいい。

犬養　今、動き出している印刷業界の中で、特徴を持って他社との力を互いに使い伸びていく考え方はどの会社も一緒だと思う。僕自身はそのギャップは感じないな。

高辻　そう、地域格差が若干はあっても、有効に使えればいいし、地方の方が利益を上げられればそれはそれでいい。（次号、後編へ続く）

（次号、後編へ続く）

「和」をもって、共存共栄を目指す情報紙。
Takebashi Community Press

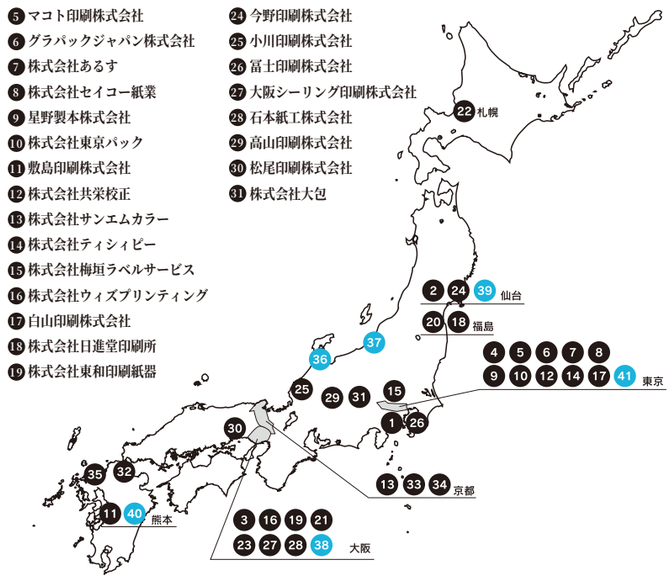
竹橋コミュニティプレス

August 2005

創刊号

平成17年8月3日発行
発行人／犬養 俊輔
発行／株式会社 帆風
編集長／小原 紹一郎
編集／株式会社 帆風　小原デザインセンター
スタッフ／石原 有理・横田 みえこ・井口 健太郎・椎橋 信雄
画像補正／六川貴司
CTP印刷／竹橋プリンティングセンター

竹橋コミュニティスクエアの新しいメンバーご紹介



1 株式会社日相印刷
2 三協タックラベル株式会社
3 旭紙工株式会社
4 双葉ネクストワークス株式会社
5 マコト印刷株式会社
6 グラパックジャパン株式会社
7 株式会社あるす
8 株式会社セイコー紙業
9 星野製本株式会社
10 株式会社東京パック
11 敷島印刷株式会社
12 株式会社共栄校正
13 株式会社サンエムカラー
14 株式会社ティシィピー
15 株式会社梅垣ラベルサービス
16 株式会社ウィズプリンティング
17 白山印刷株式会社
18 株式会社日進堂印刷所
19 株式会社東和印刷紙器
20 北斗印刷株式会社
21 ハート株式会社
22 有限会社プロセスレボ
23 株式会社光陽社
24 今野印刷株式会社
25 小川印刷株式会社
26 冨士印刷株式会社
27 大阪シーリング印刷株式会社
28 石本紙工株式会社
29 高山印刷株式会社
30 松尾印刷株式会社
31 株式会社大包
32 二葉印刷株式会社
33 株式会社やまとカーボン社
34 株式会社図書印刷同朋舎
35 福博印刷株式会社

36 株式会社ウィル・コーポレーション
代表取締役　若林和芳
総合印刷業
〒924-0051石川県白山市福留町370番地
Tel　076-277-9811

37 株式会社三幸堂
代表取締役　角田幸市
総合印刷業（商業印刷、Webデザイン・コンテンツ作成、各種データベース構築、プロモーションビデオ制作、デジタル通信業務構築、パッケージ、販促商品）
〒951-8131新潟県新潟市亀田曙町5-3-41
Tel　025-383-1234

38 野崎工業株式会社・葉織華印務有限公司
代表取締役　清水順市
印刷業（中日合併により高生産・高品質・ハイスピード、ローコストを実現！ビジネスフォーム印刷、商業印刷、書籍出版印刷、オンデマンド印刷、包材印刷、印刷関連IT機器販売）
〒574-0015大阪府大東市野崎4-11-26
Tel　072-879-9800

39 株式会社ユーメディア
代表取締役　今野敦之
印刷業（販売促進計画、人材採用PR計画、広報PR計画、地域・企業・学校コミュニケーション計画、印刷媒体制作、企画編集、イベント・展示・映像・出版、広告制作・広告取扱い、デジタルメディアコンテンツ制作、データベース構築、オンデマンド印刷）
〒984-0011宮城県仙台市若林区六丁の目西町6-5
Tel　022-288-6015

40 株式会社大和印刷所
代表取締役　島田修二
印刷業（企画、デザイン、制作、製版、CI、VI、カタログ、パンフレット、リーフレット、ポスター、DM、チラシ、ホームページ制作、書籍、印刷）
〒861-8031熊本県熊本市戸島町920-11
熊本コスモ工業団地内
Tel　096-380-0303

41 株式会社ラバーソウル・楽伯索羅数馬設計有限公司
代表取締役　住友英二
デザイン業（日本と中国の連携により、効率化・スケジュールの短縮化等を実現。企画・デザイン・日本語組版・中国語組版・製版、ワールドワイドな制作環境、チラシ、図面集、Web制作）
〒113-0033東京都文京区本郷1-11-14
小倉ビル5F
Tel　03-5804-4670

（ナンバー、順序はお申込み順・敬称略／7月26日現在）

コミュニティの輪をつなぐ HOT NEWS

このコーナーは、毎号出展企業の皆様からのホットな情報を掲載し、コミュニティコアの充実を図るものです。

双葉ネクストワークス株式会社から

双葉ネクストワークス（株）は、総合広告代理店として各種媒体扱い、SP、印刷物、マーチャンダイジング、出版、新商品開発など幅広く展開。高品質と短納期をモットーに、それぞれの担当者が精度を上げ、守備範囲を広げていくことに心血を注いでいます。出展各社様とはサブタイトルにあるように、「コミュニティの輪をつなぐ」ことを第一義としてWin-Winの関係を築きたいと思います。

マコト印刷株式会社から

6月17日、印刷関連会社の印刷工場を念頭に置き、新たに導入した印刷機群の能力をアピールする内覧会を開催。超薄紙から超厚紙まで、短納期の生産態勢に大きな反響を呼び、全国各地より270名の注目が集まりました。ハイデル菊全5色＋水性ニス＋IR乾燥で、ニスの乾燥性を手触りで体感してもらい、高速乾燥を確かめ裏面印刷し、約40分で中綴じ製本まで完成させる実演を行いました。

株式会社東京パックから

（株）東京パックでは、平成18年度年賀状印刷に向けての最終デザイン選考会が7月5日に終了し、8月後半に向けてのデザイン発表およびパンフレット配布の準備がスタートいたしました。パーソンズプラザの年賀状は、文具店・プリントショップ等での名入れ取次販売と、都内および横浜の有名百貨店でのスピード印刷事業を展開しております。準備が整い次第、皆様には真っ先にご案内させて頂きますので宜しくお願い申し上げます。

創刊号おめでとうございます☆

総合製本の
星野製本（株）
本社　03-3946-1321
分室　03-6267-7002

●このスペースは、コミュニティスクエア参加企業のための広告スペースで、企画・デザイン・制作、全て各会社が手掛けたものです。順次掲載をお願いいたしますので、奮ってご参加下さい。